

平成30年度熊野市通学路安全推進会議合同点検対策一覧表

No	関係 学校区	路線名	地名・住所	場 所	通学路の状況、危険の内容	対策内容	事業主体	対策の現状 (令和元年8月現在)
①	新鹿小中	県道737号	新鹿町	新鹿小中学校前	高速をおりてきた車が勢いよくスピードを出して走っているため、とても危険である。 →スピードを落とし、横断歩道を横断する児童生徒がいることを知らせるための安全対策を講じてほしい。	・(警察)必要な標識等はすでに行っている。 現状これ以上は難しい。	熊野警察署 市民保険課	(警察)40km規制を行っており、これ以上は難しい。横断歩道の塗り直しは実施済み。 (市民保険課)飛出し注意看板を4基設置した。
②	新鹿小中	県道737号	新鹿町	新鹿小中学校前	横断歩道がうすくなっているため、車からわかりにくい。 →塗り直してほしい。	・(警察)色を目立つように塗り直す。	熊野警察署	次年度以降で、優先順位をつけて実施。 * 塗装実施済み
③	新鹿小中	国道311号	新鹿町 甫母町	新鹿町から甫母町まで	道幅が狭く、スクールバスが対向車とすれ違いにくい。また、山から木がせり出していて、道に覆い被さっており、バスの天井に当たることもある。 →道に覆い被さっている木を伐採してほしい。	・(建設事務所)道路利用者に影響のある範囲の枝等については、適宜対応する。	建設事務所	必要性等を整理の上、可能な範囲での対応を検討している。枝の伐採については、車両通行に支障のあるものについては、その都度対応している。
④	木本小	記念通り	木本町	「まつ家」の横	児童の横断時が危険 →横断歩道の設置。「飛び出し小僧」の設置	・(警察)横断歩道を付けるには歩道の端の切り下げが必要で、警察から市へ申し入れをしている。それが出来れば、横断歩道を付けることを上申していく。 ・(建設課)来年度以降の対応になる。	熊野警察署 建設課	(警察)道路構造の改良が困難なためなどにより、設置できず。安全指導を行う。

平成30年度熊野市通学路安全推進会議合同点検対策一覧表

No	関係 学校区	路線名	地名・住所	場 所	通学路の状況、危険の内容	対策内容	事業主体	対策の現状 (令和元年8月現在)
⑤	木本小	記念通り	木本町	「アカサカスポーツ」の横	児童の横断時が危険 →横断歩道の設置。「飛び出し小僧」の設置	・(警察)横断歩道を付けると、子どもは車の確認をせずに渡ってしまう。付けない方が、子どもが横断時に車に気を付けて渡ろうとする。子どもへの注意喚起にもなるため、付けない方が良い。	熊野警察署	横断歩道は設置せず、安全指導を行う。(学校も確認済み。)
⑥	木本小	記念通り	木本町	「中村畳店」の横	児童の横断時が危険 →横断歩道の設置。「飛び出し小僧」の設置	・(警察)横断歩道を付けると、子どもは車の確認をせずに渡ってしまう。付けない方が、子どもが横断時に車に気を付けて渡ろうとする。子どもへの注意喚起にもなるため、付けない方が良い。	熊野警察署	横断歩道は設置せず、安全指導を行う。(学校も確認済み。)
⑦	木本小	記念通り	木本町	「菲菲」の横	児童の横断時が危険 →横断歩道の設置。「飛び出し小僧」の設置	・(警察)横断歩道を付けると、子どもは車の確認をせずに渡ってしまう。付けない方が、子どもが横断時に車に気を付けて渡ろうとする。子どもへの注意喚起にもなるため、付けない方が良い。	熊野警察署	横断歩道は設置せず、安全指導を行う。(学校も確認済み。)
⑧	木本小	国道42号と記念通りを結ぶ道路	木本町	「瀬川商店」の横	裏の道ではあるが割と交通量はある。児童が横断するときに危険である。 →横断歩道の設置。	・(警察)停止線の塗り直しは、本年度は難しい。ペンキで仮の補修ができないか検討する。 ・(建設課)ミラーの設置について検討する。	熊野警察署 建設課	(警察)次年度、塗り直しができる場合は、本年度はペンキで仮補修する。 (建設課)路上駐車を取り締まりを強化してもらった上で必要か検討したい。

平成30年度熊野市通学路安全推進会議合同点検対策一覧表

No	関係 学校区	路線名	地名・住所	場 所	通学路の状況、危険の内容	対策内容	事業主体	対策の現状 (令和元年8月現在)
⑨	木本小	国道42号と 記念通りを 結ぶ道路	木本町	「西衣料品店」 の向かい	旧道ではあるが割と交通量はある。児童が路 地から旧道に出るときに危険である。 →横断歩道の設置。カーブミラーの設置。	(建設課)飛び出し注意の看板設置とミ ラーの設置について検討する。	建設課	カーブミラーを設置 済み。
⑩	木本小	旧木本トンネ ルにつながる 道路	上木本	理容店「バッ ター」の横	児童の横断時が危険 →横断歩道の設置。	・(警察)横断歩道を付けると、子どもは 車の確認をせずに渡ってしまう。付けな い方が、子どもが横断時に車に気を付 けて渡ろうとする。子どもへの注意喚起 にもなるため、付けない方が良い。	熊野警察署	横断歩道は設置せ ず、安全指導を行 う。(学校も確認済 み。)
⑪	木本小	木本高校へ 向かう道路	上木本	月極駐車場の 向かい	児童の横断時が危険 →横断歩道の設置。	・(警察)横断歩道を付けると、子どもは 車の確認をせずに渡ってしまう。付けな い方が、子どもが横断時に車に気を付 けて渡ろうとする。子どもへの注意喚起 にもなるため、付けない方が良い。	熊野警察署	横断歩道は設置せ ず、安全指導を行 う。(学校も確認済 み。)
⑫	井戸小	県道 七色峡線	井戸町上平	井戸小学校 西門前	交通量が多い。横断歩道はあるが、徐行・停 止しない車がある。 →信号機の設置。	・(警察)通行人の数が少ないと、信号機 を設置することで、かえって交通事故を 誘発する可能性もあるため、設置は適 当ではない。また、目安として1時間に3 00台の通行量がないと信号は付けられ ない。下校時刻の横断歩道の取り締まり を強化していく。	熊野警察署	取り締まりを実施済 み

平成30年度熊野市通学路安全推進会議合同点検対策一覧表

No	関係 学校区	路線名	地名・住所	場 所	通学路の状況、危険の内容	対策内容	事業主体	対策の現状 (令和元年8月現在)
⑬	井戸小	松田橋	井戸町松田地	松田橋付近	橋の幅は狭いが、登校時は車も多い。小学生と中学生や出勤する大人と交差する。 →安全対策をしてほしい。	・(警察)状況から、下校時に「右側を歩くように」とは指導しがたい。1mの外側線が引けるなら、左側通行も可。 ・(建設課)端から1mのところの線を引けないか検討する。	熊野警察署 建設課	(建設課)令和元年5月 対策済
⑭	井戸小	県庁舎北側の道路	井戸町井土	県庁舎北側	倉庫の整備ができていない。トタンの壁、側溝のふた等。 →安全対策をしてほしい。	・(建設課)側溝のふたについては確認する。	建設課	令和元年6月 工事完成済
⑮	井戸小	イオン東側の道路	井戸町松原	イオン東側	松原からイオン側への道路は狭く、踏み切りを渡り、高架下を抜けてイオンの東側に出る。道路の整備もされていない。 →安全対策をしてほしい。	・(警察)通行時には路側帯の方を歩くように指導してほしい。防犯の観点からも登下校時の見守りを強化していく。	熊野警察署	パトロールを実施している。毎月5日には、歩いて見守りを行っている。
⑯	木本中	県道 鵜殿熊野線	井戸町	「たねや」前交差点	交通量が多い中、中学生・小学生の横断も多い。→音楽が鳴る歩行者用信号の設置をお願いしたい。	・(警察)歩行者灯の設置を要望していく。そのために、何年生の児童生徒が何人ここを通行しているかを教えてほしい。	熊野警察署	歩行者灯の設置について、県へ要望していく。
⑰	木本中	大道館下の道路	井戸町	大道館下のブロック塀	大地震が発生すると両側から崩れる恐れ。 →再度通学路に指定できるよう、改修してもらいたい。	・(建設課)ブロックを取る方向で進めている。	建設課	9月 入札予定
⑱	有馬中	国道311号線	有馬町	「コメリ」付近の十字路	横断歩道が消えかかっている。 →塗り直してほしい。	・(警察)優先順位を付けて対応したい。	熊野警察署	3月末までに実施予定。 * 塗装実施済み

平成30年度熊野市通学路安全推進会議合同点検対策一覧表

No	関係 学校区	路線名	地名・住所	場 所	通学路の状況、危険の内容	対策内容	事業主体	対策の現状 (令和元年8月現在)
⑰	有馬中	国道311号線	有馬町	ゴルフセンター 付近	国道311号を下ってきた自転車が側道から 出てくる車とぶつかる恐れがある。 →側道側に一旦停止の表示を付けてほしい。	・(警察)停止線を付けるのは難しい。停止線 がなくても車は十分気を付けて合流する箇所 である。また、停止線があると生徒が注意せ ずに通ることも考えられるので、生徒への注 意喚起をする方が妥当である。	熊野警察署	学校も確認済み。
⑱	有馬中	国道311号線	金山町	「くまのパラダイ ス」前の交差点	白線が不鮮明。 →白線を補修してほしい。	・(警察)優先順位を付けて対応したい。	熊野警察署	次年度以降で、優 先順位をつけて実 施。 * 塗装実施済み
21	有馬中	県道 鵜殿熊野線	久生屋町	「ラーメン屋武 蔵」付近	車道を走ってきた自転車が歩道に移る際に 段差があり危険である。 →段差を無くしてほしい。	・(警察)交通ルールに従って通行するよ うに指導してほしい。 ・(建設課)緑のラインの延長を検討す る。	熊野警察署 建設事務所	(建設事務所)優先 順位を整理の上、 対策を検討する。